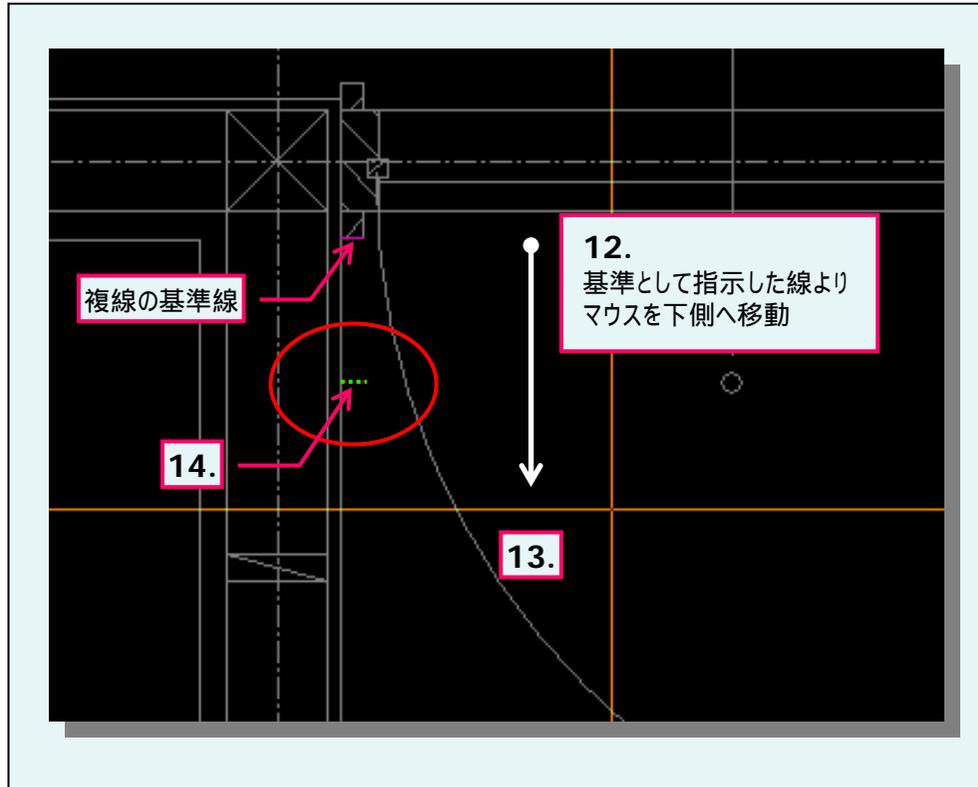


# 9-1(3). 図形の配置-2

## 図形(電気設備シンボル)の配置 - 配置する箇所へ基準点を作成(3)-壁面

図形配置の基点を決めるための基準となる線を決定し、複線(平行線)を使用して配置基点(離れ)を決めていきます。(2)



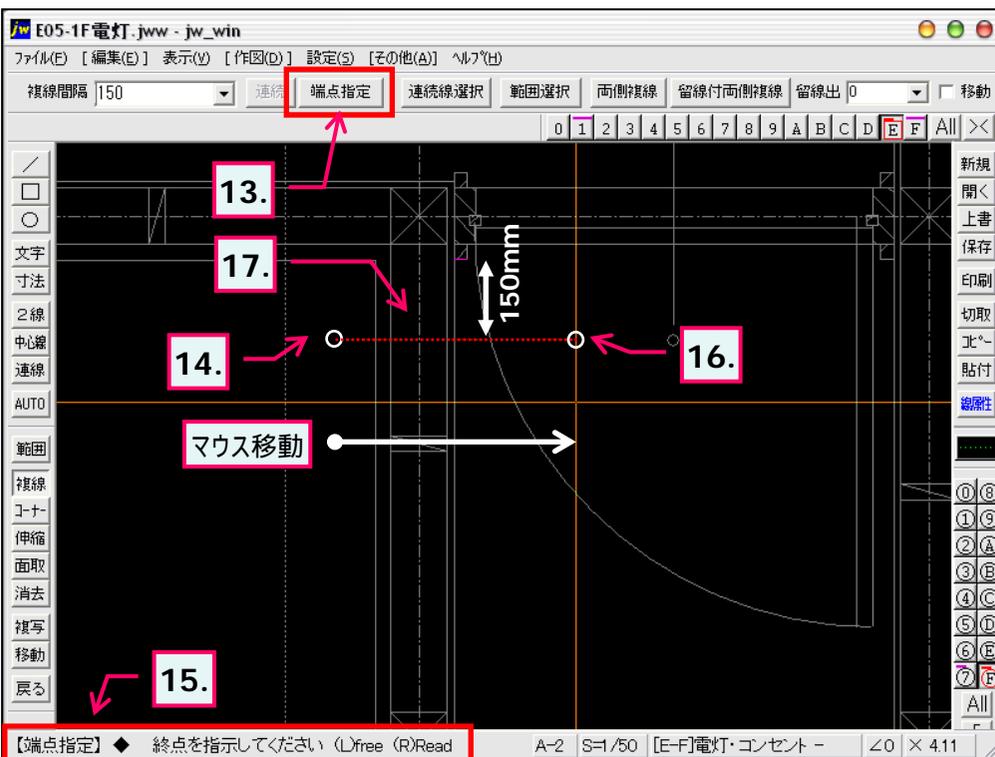
12. 複線を引く方向へマウスを移動します。  
ここでは指示した基準線より下方へマウスを移動しています。

13. 複線の仮表示線が希望する方向へ表示されたら、マウス左ボタンをクリックします。

14. 図のように基準として指示した線から150mm離れた箇所へ複線(平行線)を引くことが出来ました。

この章では壁面の線と補助線種で作成した複線(平行線)の交点を図形の配置基点とします。  
基準として指示した線が実際には壁面と交差していなかったり、左図のように線分が短くて図形が配置しづらい場合があります。  
次手順では長さを変えた複線を作成する方法を見ていきましょう。

### 複線(平行線)の長さを変更



手順は前「1.」～「12.」まで同じです。

13. マウス操作のみでも行えますが、ここでは「端点指定」ボタンをクリックします。

14. 直線を作図する要領で複線の始点を決めます。  
ここでは任意の箇所を始点としますので、マウス左ボタンクリックにより指示します。:(L)free

15. ステータスバーに表示されているヒントを確認。

16. 複線の終点を決めます。  
ここでも任意の箇所を終点としますので、マウス左ボタンクリックにより指示します。:(L)free

17. 左図のように長さを変更した複線(平行線)が「9.」で入力した間隔を保ったまま仮表示線が表示されています。